

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルきむら		
○保護者評価実施期間	R 7年 11月 1日		～ R 7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R 7年 11月 1日		～ R 7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年12月10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援の提供について	・利用児童ひとりひとりのニーズを把握した上で小集団活動を、さらには専門的支援計画書を作成し5人までの小グループでの活動を必要に応じて取り入れています。専門職(児童指導員、言語聴覚士)が個別での支援を行うこともあります。ニーズに合った支援を行い成長の力添えを行っています。	・より綿密なアセスメントとモニタリングを行い、本人や保護者のニーズに合った支援の提供を目指します。 ・言語療法は先生の都合もあり、もっと入れてほしいというお声もいただきます。出来る限りお誘いをさせていただき、言語聴覚士からのレクチャーを職員が受け、日常生活での関わりでも意識的に支援を行っていきます。
2	・ペアレントトレーニングなどの保護者支援事業	・ペアレントトレーニングを毎年行っています。支援員も毎年役割を変わり、スキルアップにも繋がっています。保護者の方からも参加して良かったとの声が多く、家庭での取り組みやお子様との関わりを見直していただく良いきっかけとなっています。相談支援クローバー様とも連携しながらより良い保護者支援を目指しています。	・参加するまでの一歩が踏み出せない方が多く、良さを伝える為の体験談やお試し回など機会を作ってすすめる工夫をしていきたいと思います。 ・現在も行ってますが、ペアレントトレーニングに欠席してしまっても別日にフォローアップを行う事で参加しやすくなるようにしていきます。
3	・利用児自身が通所を楽しみにしている	・お子様自身が「楽しい」「また来たい」と思える空間作りを意識しています。内容が偏らないよう設定活動は週ごとに変え、楽しみながらそれぞれの課題に取り組めるようにしています。チャレンジする気持ちを大切に、できた時にはたくさん褒めながらお子様自身の「もっとやりたい」という意欲を引き出すようにしています。	・保護者様のニーズ、利用児本人のニーズそれぞれをしっかりと捉え、より充実した活動内容を検討していきたいと考えます。 ・手作りおやつやリトミック、サーキットなど普段ご家庭ではしにくい活動を取り入れたり、お出かけをしたり、新しい経験を増やす工夫もしていきたいと考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流(園・地域行事など)	・平日の利用時間が園終了後の時間である為、地域の園との子ども同士の交流が難しいのが現状です。また、2～6歳の児童が歩いて行ける範囲での地域の催しも少なく、行われていても閉所日の日曜日や時間外の夕方が多く、参加が困難です。	・地域の催しについてはこれまで通り参加可能なイベントの情報を収集し、積極的な参加を促して行きます。また、園送迎や担当者会議などで職員間での交流が増えた事もあり、繋がりを活かして園行事への参加(土曜日など)も検討していきたいと思っています。
2	・地域連携(医療・福祉・教育など)	・上記と同様、なかなか直接地域と繋がる行事に参加しにくい点が課題と考えています。特に医療連携は推進していきたいと考えていますが、実際保護者の方や相談員様の要請があってからの連携となる為、実例がないのが現状です。	・避難訓練や事業所内のイベントを地域住民参加可能とする、避難場所の学校への挨拶・避難訓練を実際に行い入れてもらう等検討中です。ただし、利用児の家庭事情や心情にも配慮する必要がある為慎重な対応をとるようにしています。地域住民の参加については、安全面の対策を検討した上で慎重な検討を行っていきます。
3	・利用児の保護者、家族参加のイベント開催	・夏祭りやクリスマス会など、当日の利用児以外も自由参加型でのイベントを開催していますが、当日のご家庭都合や、新規の会場へ入りづらい特性を抱える利用児さんもおられる為、全員が満足できる会のあり方が課題です。 ・茶話会が年に1回程度であること、障がいをもつ兄弟間交流に絞った会等も検討を要すると思えます。	・どのようなニーズがあり、参加が難しいのであればどのような理由からなのかを検討し、開催可能なイベントをその年ごとに工夫していく必要があると考えます。年によって年齢層も変わってくる為“今”合っているのか、必要なのかという検討も毎年必要かと思えます。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		スマイルきむら		公表日		2026 年 1 月 9 日		利用児童数		24人(23家庭)		回収数		15	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14 (94%)			1 (6%)	・実際に供達が遊んでいる状況を見てはいないのではありません。	・見学・相談は随時承っている旨を月のお便りに記載しました。また、計画書にも記載があるので再度案内していこうと思います。							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15 (100%)				・特段人数不足で子供が怪我した等問題が起きた事はないため。	・安心してご利用いただけるよう、適切な人員配置と必要に応じた対応をとらせていただきたいと思います。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15 (100%)				・そう思います。								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15 (100%)				・そう思います。								
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15 (100%)				・少しずつ言葉が話せるようになってきていると感じており支援を受けられていると思います。	・引き続き職員一同研修、研鑽を積みながらより質の高い支援を提供できるようにしてまいります。							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15 (100%)				・そう思います。								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15 (100%)				・そう思います。								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14 (94%)	1 (6%)			・そう思います。								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14 (94%)	1 (6%)			・言葉等について伸びていってくれるよう支援してもらっていると思います。 ・言語療法を増やしてほしい。	・言語療法の先生については可能な限り調整させていただきます。曜日の調整が難しい場合は言語のある曜日にご利用お誘いをさせていただきます。							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14 (94%)	1 (6%)			・季節に応じた子供達が楽しめる様なことをしてもらっていると思います。	・季節や行事を意識できるようなプログラムを組み豊かな情緒を育めるよう心がけてまいります。							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5 (34%)	1 (6%)	2 (13%)	7 (47%)	・どこまで交流があるのかわかりません。 ・土曜に利用している為。（わからない、に回答） ・クリスマス会や夏祭りかなと思います。	・本事業所の課題でもあります。利用時間帯的にも難しさはありますが、近隣園との繋がり作り、地域行事への参加を検討していきます。							
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15 (100%)												
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15 (100%)												
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15 (100%)				・ペアレント・トレーニングに参加させてもらっています。 ・土曜に利用している為。（わからない、に回答） ・すごくよかったです！機会があればまた参加したいです。	・ペアレントトレーニングに関しては引き続き開催をしてまいります。気軽に参加できるお試回なども茶話会などで検討していきます。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14 (94%)		1 (6%)		・そう思います。								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13 (88%)	1 (6%)	1 (6%)		・してもらっています。								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15 (100%)				・状況を理解していただいた上で支援してもらっていると思います。								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12 (80%)	2 (14%)		1 (6%)	・してもらっていると思います。 ・イベントは工夫されており楽しませていただいている。	・さらに充実した内容の取り組みとなるよう、いただいたご意見を参考にしながら見直し・改良させていただきます。							
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12 (80%)	1 (6%)		2 (14%)	・わかりません。	・玄関に匿名で記入できる意見箱の設置をしていること。また各種相談、申し入れが可能である事などをわかりやすくご案内していきます。							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13 (87%)	2 (13%)			・アプリの活用等気軽に連絡ができるようになってきていると思います。	・時間を気にせずに出欠連絡等送っていただけるメールアプリの活用をしています。また、児発管、職員ともになるべくお顔を合わせてお話できる機会を意識して作っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15 (100%)				・アプリによってすぐに発信された内容を確認できています。	・必要な連絡はアプリを通して行っています。ホームページやInstagramも活用していますので、案内をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14 (94%)			1 (6%)	・わかりません。	・契約時にご案内させていただいていますが、長くご利用いただいている方にも定期的にご説明させていただけたらと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13 (88%)	1 (6%)		1 (6%)	・わかりません。	・安全計画は年に1度アプリで最新のものを配信しています。マニュアルについてもわかりやすく周知をしていくようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14 (94%)			1 (6%)	・わかりません。	・避難訓練は毎月行っています。現在お便り、利用日の記録配信などで発信をしています。引き続きわかり易くお伝えしていきたいです。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14 (94%)	1 (6%)			・そう思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14 (94%)	1 (6%)			・体調不良の連絡はすぐもらっていますし、小さな怪我についても迎えの際に聞かせてもらっています。	・安心してご利用いただけるように怪我の報告は迅速に行ってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15 (100%)			1 (6%)	・楽しそうに行っています。	・ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14 (94%)			1 (6%)	・楽しそうに行っています。 ・スマイルから帰宅するといつも自信ややる気に満ちた状態になっています。	・ありがとうございます。楽しんでいただけると今後とも努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15 (100%)				・そう思います。 ・いつもありがとうございます。大変楽しんでいると思います。	・ありがとうございます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	スマイルきむら	公表日	2026 年 1月 9 日
------	---------	-----	---------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・利用定員に対しての広さは十分確保してあると思います。間仕切りを使って部屋を分け人数に合わせて部屋を使う事もできます。	・活動によっては狭いと感ずる部分もありますが、活動する人数を分けて絞るなど工夫をします。広さはありますが死角になる場所も出てくる為、注意して職員配置を行う必要があります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・支援内容やこどもの年齢層、特性に応じて職員配置を調整しています。	・年齢層が低くなってきており、人員が必要だと感ずる事もあります。お子様に状態や人数に応じて増員をお願いしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・玄関→手洗い→ロッカー→保育室とつながっており、動線がわかりやすい構造になっています。	・1～2歳の利用者様が増えてきたこともあり、やや段差が大きいと感じる場所、高さが調整しづらい物もあります。バリアフリーを意識した工夫をしていく必要があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・こどもの年齢に応じた活動をする際、保育室を仕切り、それぞれで活動できるようにしている。	・元が古い施設を改修していることもあり、備え付けの器具が古くなってきています。清掃は努力していますが、どうしても取り切れない汚れや傷みも見られます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・保育室の他に個室が設けられており、必要に応じて行うことができます。 ・空いていればこどもの求めに応じて、クールダウンや個別支援に使うことができる部屋があります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		・日々の業務前後のミーティングと月一的全職員のミーティングが行われています。	・送迎が増えてきており、勤務時間内に全員で話し合いができる時間が以前よりも少なくなっています。必要な事務を短時間でまとめる工夫が必要になってきています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・玄関先に意見箱の設置をし、保護者が意見を出しやすい環境を整えています。 ・日々の業務前後のミーティングと月一的全職員のミーティングが行われています。	・意見箱については利用が確認されていないので、さらに普及するよう案内します。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・ミーティングでこどもの様子を共有する時間を設けています。 ・日々の業務前後のミーティングと月一的全職員のミーティングが行われています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7	・厳密に言う第三者外部評価の機関ではないが、業者に委託をして同様の取り組みを行っています。	・改善点についてはなるべく迅速に改良できるよう努力しています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	・全体ミーティング際には様々な研修を行っています。また、外部研修に参加した職員が講師となって伝達研修も行っています。	・個人の参加したい研修に何でも行けるわけではなく伺いを立てることとなっています。業務時間外での参加を余儀なくされることもあります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・月ごとの活動予定をコドモン(アプリ)などで配信して、前もって予定の把握ができるようにしています。 ・連絡ツールで毎月家庭に公表、希望があればプリントでも配布しています。	・ホームページでの公表については知らない保護者も多い様子なので、周知をしていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・必ず保護者との対面でのアセスメントを行っています。適切なプロセスでの作成を行っています。	・保護者様が来所が難しい、時間の都合がつきにくい例も増えてきました。伺いを立てた上でご自宅訪問なども行っています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・計画作成については常勤のみの会議になりやすいですが、パート支援員の方の記録も参考にしながら計画作成を行っています。	・完成した計画をパート支援員の方にも定期的に確認いただきながら共通理解と現在の目標確認をしていきたいと思っています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・支援の際に利用児のファイルをまとめて確認できるようになっています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・インフォーマルなアセスメントが中心ではありますが、総合的かつ客観的に判断をしながら確認しています。	・フォーマルなアセスメントは直接利用はしていませんが、Vineland、S-M生活能力検査などを参考にするようにしています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	・全ての項目を適切に設定して計画の作成を行っています。	・具体的な支援目標だけでなく、やや曖昧な文言も少なくはない為、誰でも一目見てわかる書き方を意識しながら作るようにします。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	・基本的には常勤が利用児のいない時間帯に相談・立案・準備を行っています。チームで役割分担をしながら行っています。	・常勤が主となっていますので、パート支援員の方からも様々な角度からの意見をいただきながら形にしていきたいと思っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・子どもの興味や季節行事を取り入れています。 ・制作やクッキングといった手先を使った活動と全身を使った活動が月々で入るように意識しています。	・年間通すと繰り返しのものもある為、新しい挑戦も取り入れていけたらと思います。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・専門的支援にも力を入れるようになっていきます。個別と集団それぞれの良さを活かした計画作成をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・必ず打ち合わせを行っています。活動の担当だけでなく支援に必要な児童の確認と担当、時間についても細かく打ち合わせます。	・送迎が増えてきた関係で支援前でも全員揃っていない時もあります。抜けがないように注意していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・記録と振り返りを必ず行っています。共通理解、情報共有の時間として大切にしています。	・送迎や延長保育が増え、振り返りの時間が短くなってしまいました。短時間で要点を押しさえる意識をしていきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・記録を全職員が見られるようにし、支援開始前に共有し、検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・主に児発管がモニタリングを行いますが、職員の意見を聞きながら多角的に見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・基本的に児発管が出席するようにしています。難しい場合は支援に携わる職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	・教育、保育、福祉などの関係機関と担当者会議などで連携を図っています。	・医療との連携は実例が少ないのですが、必要に応じて連携をとる体制は整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	4	・利用時間としては併行利用がしやすい環境や時間設定となっています。移行支援については保護者の意向に沿いながら進めています。	・やはり園や学校など十分な連携をとれているとは言にくい為（支援内容など）、今後も積極的な姿勢で会議参加や情報提供を行ってきたいと思っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	5	・就学の相談は受けています。小学校や特別支援学校とのやり取りの仕方をお伝えしています。ペアレントトレーニングで作成したサポートブックの活用もすすめています。	・実際に直接園や学校と就学の会議はできていませんが、必要に応じて参加の態勢は整えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	9		・スーパーバイズに入っていたらと考えるとありますが、機会に恵まれていないのが現状です。今後の連携を検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9		・園終わりの利用時間という性質上、難しい状況です。機会があれば土曜日の行事などに参加できないか提案していきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・共通理解をもち、同じ方向性で全員が支援を行えるように意識しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		・毎年ペアレントトレーニングを3事業所合同で行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・契約時に丁寧に説明を行うようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・保護者の方の意向をもとに支援計画を作成することを基本としています。	・こども自身の意思確認については難しい場合もある為、ほとんどが保護者の方へのヒアリングになっています。どのように意思を尊重、確認するのは今後も課題としながら意識していきたいです。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		・必ず直接の説明を行うようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・相談があれば内容や保護者の希望によって電話、面談、訪問など対応しています。可能な限り迅速に対応するようにしています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	・クリスマス会、夏祭りなどで保護者や兄弟が交流する機会を設けています。 ・茶話会で保護者同士の交流ができる機会を設けています。	・障がいをもつ兄弟姉妹がいる特殊な環境に置かれたきょうだい同士の交流という意図をもった会については特別設けていません。必要に応じて開催も検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・対応の体制を整備しています。希望や状況に応じて必要な時間をとりながら対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		・毎月のお便りでプログラムやお知らせを、写真便りで日々の様子を4月に1度配信しています。また、ご利用時には写真をつけた活動報告を配信しています。	・InstagramやHPの活用についてはまだできていない部分があるため、周知とともに適切な利用を目指していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・十分留意して扱っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・視覚支援、見通しをもてるよう予め予定や送迎車を伝えておくなど、必要に応じた支援や配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		・地域の方を事業所に招く体制や安全性について十分議論した上で地域に開かれた事業所作りを行っていきたくと考えます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	・マニュアルの策定と職員への周知、研修、それにならった訓練の実施を全体ミーティング等で行っています。 ・不審者対応訓練を年に数回利用児と一緒に行っていきます。	・お便りやアプリの配信機能を利用して保護者への周知を行っていきたくと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・新しい職員が入職した際、見直しと研修を行っています。また年間計画に組み込みながら定期的な訓練を行っています。	・どのような研修が適切なのかまだ手探りなので、学ぶ機会が欲しいです。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		・服薬の変更や発作の情報、てんかんが起こった際のチャート図など職員が見やすい場所に貼り出し（職員のみが見ることができる場所）確認できるようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・現在重篤な食物アレルギーのある児童がいません。そのような場合、上記と同様に確認と対応ができるよう体制を整えます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・安全計画が作成されたことにより、全員で毎月の点検箇所や研修内容を確認できるようになっています。	・避難経路に使うドアの開閉に時間を要してしまうことがあります。（1カ所）日頃から鍵のかけにくさ、扉の滑りなど安全点検を行い、修理が必要な際には早めに修理を行うようにします。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3	・安全計画の周知は4月に行っています。計画や支援計画にも避難場所などの記載を行い連携を図っています。	・周知についてはより徹底して行うようにしたいと思っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・月1のミーティングで他事業所の例も含めて共有し、具体的に振り返り共通認識として持つことで繰り返すことがないように気を付けています。	・事故が起こる前の状況を見逃さず、文章化することで意識できるよう再度声掛けを行っていきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・研修機会の確保をしています。	・社内の風通しをよくすることを意識し、誰でも意見が言える場作りを意識していきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2	・全体ミーティングの際に身体拘束研修と身体拘束をやむを得ず行う場合の共通認識を行っています。但し現在身体拘束を必要とする児童がいない為左記の事例は行っていません。このような状況があれば然るべき対応をし		